

令和2年度第4回千葉市社会福祉審議会地域福祉専門分科会議事録（書面開催）

1 日時 令和3年3月18日（木）～ 令和3年3月31日（水）

2 出席者

【委員】 大塚委員、岡本（武）委員、齋藤（一）委員、齋藤（博）委員、住吉委員、高野委員、高山委員、武井委員、竹川副会長、鳥越委員、松崎委員、茂手木委員、森元委員、山口委員、山下会長

【臨時委員】 飯田委員、岡本（博）委員、津田委員、長岡委員、原田委員

※ 臨時委員は前半のみ参加。

※ 委員20人のうち回答20人

【事務局】〔前半〕

健康福祉部：富田部長

地域福祉課：浅井課長、和田課長補佐、小林主査

市民自治推進課：坂本課長

保護課：鳩川課長

地域包括ケア推進課：石川課長

健康推進課：松本課長

高齢福祉課：高石課長

各区保健福祉センター

中央区：根岸所長、花見川区：市原所長、稲毛区：宍倉所長

若葉区：前嶋所長、緑区：緑川所長、美浜区：大塚所長

千葉市社会福祉協議会：地域福祉総務課 山内担当次長

：地域福祉ボランティアセンター 森所長

各区事務所 中央区：吉野所長、花見川区：猪野所長、稲毛区：中山所長

若葉区：石毛所長、緑区：高吉所長、美浜区：吉田所長

〔後半〕

保健福祉局：松島次長

保護課：鳩川課長、東前課長補佐、金井主査、佐々木主任主事、新倉主事

3 議題

〔前半〕

(1) 支え合いのまち千葉 推進計画（第5期千葉市地域福祉計画）の策定方針、骨子の見直しについて

〔後半〕

(2) 第2期千葉市貧困対策アクションプラン（最終案）について

(3) ホームレスの自立の支援等に関する第3次実施計画（最終案）について

4 議事の概要

- (1) 支え合いのまち千葉 推進計画（第5期千葉市地域福祉計画）の策定方針、骨子の見直しについて、事務局より資料送付し、書面にて質疑応答を行い、承認を得た。
- (2) 第2期千葉市貧困対策アクションプラン（最終案）について、事務局より資料送付し、書面にて質疑応答を行い、承認を得た。
- (3) ホームレスの自立の支援等に関する第3次実施計画（最終案）について、事務局より資料送付し、書面にて質疑応答を行い、承認を得た。

5 審議経過

- (1) 議題について意見聴取

	<p>【前半】</p> <p>議題（1）支え合いのまち千葉 推進計画（第5期千葉市地域福祉計画）の策定方針、骨子の見直しについて</p> <p>議題（1）についての質疑応答</p>
津田委員	<p>「地域の取り組み」、「市の取り組み」における「オンライン活用検討・支援」は議題として極めて適切と思います。コロナ禍により多くの活動が影響を受けたが、コロナが収束すれば、多くの活動が元と同じように可能になるわけであるから、問題ないのではないかと考える人もいるかと思う。今後、世の中全体としては、新しい日常になるであろう「テレビ会議」「オンライン授業」「テレワーク」など、オンラインの活用が常識となる。その様な中で、コロナ禍の経験を生かし、地域福祉活動が、さらなる進歩を遂げるには如何なることが必要かを考えることが必要だと思う。</p> <p>「地域福祉活動にオンラインの活用」に関し、私の自治会では、千葉市地域振興課より「自治会館の避難所化」の提案を受け、避難所機能の不可欠要素としてのインターネット環境の整備に着手する予定です。これらの整備により利用可能な事項(回覧版の電子化、役員会のネット化、各種テレビ会議、ネットでの慰問活動・安否確認、老人会寝たきりの会員の会議参加、老人会カラオケのダウンロード、その他)の検討・拡大を図っていくことが見込まれています。このようなことへの行政の支援・指導が期待されます。</p>
地域福祉課長	<p>今回、支え合いのまち千葉 推進計画（第5期千葉市地域福祉計画）の策定方針、骨子を見直すにあたり、住民同士の支え合いが重要であると再認識しております。コロナ禍にあっても地域のつながりを絶やさず、つながり続けるための様々な工夫やオンラインの活用を検討していきたいと考えております。</p>
長岡委員	<p>別紙 千葉幸町団地自治会ニュース 680号 681号 682号</p> <ol style="list-style-type: none">1. 地域の支え合いの拠点となっていた市の施設が十分な話し合いなく廃止された。2. 社協の事務所等を公民館内に設ける。習志野市のように。3. 子どもの居場所づくりが不十分。4. 少子化の原因が不十分。

<p>高齢福祉課長</p>	<p>「1. 地域の支え合いの拠点となっていた市の施設が十分な話し合いなく廃止されたについて」ですが、幸老人センターを利用している団体が活動を継続できるよう、UR都市機構の中央集会所や公民館など近隣の施設を代替の活動場所として紹介するなど、利用団体と個別に協議を行いました。今後も、利用団体が活動を継続できるよう相談に応じていきます。</p>
<p>地域福祉課長</p>	<p>「2. 社協の事務所等を公民館内に設ける。習志野市のように。」についてですが、社会福祉協議会としては、地区部会の活動拠点確保に向けては、基盤強化方針の取組項目に地区部会の拠点確保支援があり、社会福祉協議会職員向けに支援方針を作成後、区事務所と共有し、地区部会支援を進めております。</p> <p>しかし、地域資源にも限りがありますので、習志野市のように公助の部分で拠点整備ができるまでには至っておりませんが、どのような形で支援できるか検討してまいります。</p> <p>「3. 子どもの居場所づくりが不十分。」についてですが、千葉市こどもプラン（第2期）において、「すべての就学児童が安全・安心に過ごし、多様な体験・活動を行うことができるようにすること」を目指し、子どもルームの拡充等、総合的な放課後対策に取り組むこととしています。</p> <p>また、子どもを見守る大人の育成や地域と連携した子どもの居場所の提供を進めることとしており、その一環として、どこでもこどもカフェの開催支援や地域プレーパークへのプレーリーダーの派遣、こどもの居場所や遊びの現場で活躍する人材育成のための公開講座の開催、子ども交流館の運営などに取り組んでいます。</p> <p>「4. 少子化の原因が不十分。」についてですが、少子化の原因の背景としては、価値観やライフスタイルの多様化のほか、仕事と子育てを両立できる環境整備の遅れや子育てに対する負担感の増大等が指摘されているところです。</p> <p>このような状況の下、千葉市では、子ども・若者を取り巻く様々な問題に対応し、すべての子ども・若者と子育て家庭への支援などを体系的・総合的に推進するために「千葉市こどもプラン」を策定し、保育所や子どもルーム等の待機児童の解消や、質の高い幼児教育・保育の機会の保障と子育て家庭の経済的負担の軽減のための「幼児教育・保育の無償化」の実施など、子ども・子育て支援の充実とともに少子化対策に資する様々な施策を推進しています。</p>
<p>大塚委員</p>	<p>地域全般のまちづくりが必要であり、これまで以上に各団体等との横断的な連携が必要と思われます。</p> <p>地域内の学校関係者、町内会役員、会社経営者等々もろもろの関係者の意見等を収集し、どの様な取組が出来るかを、検討する必要があるのではないのでしょうか。</p> <p>まずは、異団体の方々との交流の場を持つことが出来たら良いのではと考えております。</p>

市民自治推進課長	<p>す。</p> <p>少子高齢化や社会環境の変化が進んでいる状況において、地域全般のためのまちづくりを進めるために、個々の団体同士が交流を持ち、連携していくことは大変重要と考えております。</p> <p>そのため、千葉市では、これまで団体単独では解決が難しかった地域課題について、各団体が横断的に連携し情報共有等の交流を進めることで解決につなげていくことを目指すため、平成26年度に「地域運営委員会」制度を創設しました。地域運営委員会の設立にあたっては、地域で活動する5団体が構成員となることを要件としておりますが、地域の実情に応じて企業や学校などの様々な主体が参画していただくことも可能です。地域運営委員会についてのご相談等につきましては、各区地域振興課地域づくり支援室で対応しておりますので、お住まいの区の地域振興課地域づくり支援室へご連絡ください。</p>
武井委員	<p>修正した所を中心に、「……」と「…、…」の使い方に違和感を持つ所がかなりある。</p>
地域福祉課長	<p>ご意見のとおり、修正いたします。</p>
飯田委員	<p>人と人とのつながりの希薄化が実際に急速にすすんでいるなか人口減少と高齢化社会が地域に大きくすすんでいるのが悲しいと思うことばかりです。46年推進計画にかかわらせていただき地域共生社会の実現のための計画がすばらしく(特にあみかけの部分)出来ました。これは文書にできただけでなく実際に市をあげて活動していったほしいと希望します。</p> <p>○成年後見の制度を市から区に活動をひろげて行って欲しい。</p> <p>現在も家族の希薄化でさいごの生活をささえていかななくては、新しい生活様式の一つとして人を支えて欲しい。</p> <p>○あんしんケアセンターを住民がたよりにしているが、組織を大きくしていかなければ生活を支えられないと考える。名前を包括支援センターとはじめの目標のように名前を立派にすることにより、活動が主流になると思う。</p> <p>たくさん勉強をさせていただきました。</p>
地域包括ケア推進課長	<p>本市では平成30年度より成年後見センターを権利擁護支援における地域の中核機関として位置づけ、あんしんケアセンターや障害者基幹相談センターとの連携による相談支援体制の強化や権利擁護支援が必要な人を、適切に支援につなげる地域連携ネットワークの構築等、地域における権利擁護支援体制の整備を進めております。</p> <p>あんしんケアセンターは、高齢者人口に応じて包括3職種を増員し、さらに必要に応じてセンターや出張所の増設を行っており、第8期介護保険事業計画では出張所の増設を予定しております。</p> <p>また、名称については、親しみを持っていただくため、平成18年度の設置当初から</p>

	<p>「あんしんケアセンター」という名称で活動し、既に広く浸透していることから、名称変更することで、市民等に混乱が生じる恐れもあるため、名称の変更は難しいものと考えます。</p> <p>今後も、センター機能の充実を進めるとともに、各センターが実施している各種イベントや出前講座等の活動を通じ、認知度の向上に努めて参ります。</p>
住吉委員	<p>推進計画の策定方針は細部にわたり考慮されています。</p> <p>コミュニティソーシャルワーカーの機能強化により、より地域住民の生活課題、支援が必要とされている人々の個別、高齢、子育て、障害者、困り事を抱えた世帯支援につながるものとなります。又、地域の方々の主体的な参加により、多種多様な生活課題をその実情に即し支えあいながら、解決に向けていることがよくわかります。</p> <p>市社会福祉協議会との施策の展開により、三輪の如く、公助、共助、自助のつながりを深め、居場所があり、隣人、友人とのつながりを大切に、支えあい、地域で「生きる」安心して自分らしく暮らし続けられる地域社会であってほしいものです。</p>
地域福祉課長	<p>「包括的な支援体制の在り方等の検討」や「コミュニティソーシャルワーカーの機能強化」などにより、誰も置き去りにしない、断らない相談支援体制を構築するための取り組みを進めていきます。また、コロナ禍で希薄になりがちな地域の方々の活動を支援するため、社会福祉協議会と連携し、地域福祉活動を通して人と人とのつながりを大切に支え合う地域社会を作れるよう支援してまいります。</p>
松崎委員	<p>資料Ⅰにより、方向性の確認が出来ました。</p> <p>市民にわかりやすく参加し共生社会へ歩みをしてゆくことが出来る計画づくりをお願いします。</p>
地域福祉課長	<p>より良い地域共生社会を実現するため、市民の皆様のお力になれるような計画にしていきたいと思えます。</p> <p>承認者数：20人中19人</p> <p>〔後半〕</p> <p>議題（2）第2期千葉県貧困対策アクションプラン(最終案)について</p> <p>議題（2）についての質疑応答</p>
大塚委員	<p>新型コロナ感染症の拡大により生活困窮者が一層増大すると思われます。</p> <p>仕事相談センター等の生の声を聴取できる様な態勢(体制)を作り上げることが大切と思われます。</p> <p>また、生活困窮者であるか否かの判断は非常に難しいと思われますが、一步入り込ん</p>

	<p>だ具体的な行動が採れるよう、今後考えて行きたいと思います。</p>
保護課長	<p>ご意見いただきありがとうございます。</p> <p>本プランではアウトリーチ支援機能の強化を施策として掲げており、自尊感情や支援を求める力の低下等の理由により相談に至っていない方などにも「支援を届ける」ことができるよう貧困対策を推進してまいります。</p>
武井委員	<p>原案の時に疑問として指摘したもののうち、回答のないものが一点あります。P9(8)平均寿命と健康寿命について、この中でH22年とH27年を比較して男性と女性で不健康期間の違いを述べているが、そもそもH27年の女性の平均寿命がおかしいのではないかとの疑問です。もし正しいとすれば、H22年で男女とも千葉市の平均寿命が全国より相当長かったものがH27年になると女性だけ全国平均より急に悪くなった理由は何か？</p>
健康推進課長	<p>ご指摘の千葉市の平均寿命については、千葉市の健康増進計画である「健やか未来都市ちばプラン」の中間評価時のものであり、数字は正しいものです。市の平均寿命は延伸しておりますが、全国平均の平均寿命の伸びよりも鈍化しており、その原因ははっきりとはわかりませんが、今後も引き続き健康寿命の延伸に向けて施策の展開を図ってまいります。</p>
住吉委員	<p>貧困対策アクションプラン 全ての個人が自立と尊厳を確保できる社会の創出。断らない相談支援などとても思いやりのあるプランです。</p> <p>支援により生活困窮状態から脱却して頂きたいと願っています。思い切って声をだし相談窓口に行ってほしいと思います。</p> <p>コロナ禍で人びとの仕事や生活に大きな打撃を受け、ついこの前迄普通の生活をしてきた人が生活困窮に陥ってしまう人々が増えているのでは・・・コロナ禍で表面化した多様性の排除といった社会状態が見られます。また経済的困窮だけでなく、精神的困窮、孤立の課題を抱えています。コロナ禍で住んでいた所を犬とともに追い出され、犬と一緒に宿る所がなく野宿していたそうです(千葉ではありません)。今はこの人とペットに支援の手があったそうです。一人ぼっちにさせない、なっちはいけない。</p>
松崎委員	<p>子どもの貧困対策の総合性が求められると思います。生活自立、仕事相談センターの役割が今後、ますます重要であると、資料からも理解出来ました。</p>
保護課長	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、生活困窮者の相談件数が急増していることから、生活が不安定な状況にある方がまだいると考えられます。</p> <p>自尊感情や支援を求める力の低下等の理由により相談に至っていない「支援を必要とする」方に対し、「支援を届ける」ことが出来るよう、より一層の貧困対策を推進してまいります。</p>

承認者数：15人中15人

議題（3）ホームレスの自立の支援等に関する第3次実施計画(最終案)について

議題（3）についての質疑応答

大塚委員

民間業者に任せた施設にて生活している状態ですが、今後一層高齢化が進むことは明白であり、介護状態になったらどうなるのか不安です。

保護課長

千葉市では、高齢のホームレスが占める割合の増加や路上生活期間の長期化が進んでいることから、ホームレスを早期に発見し、個々の状況に応じて関係機関と連携した生活支援や居住支援を行ってまいります。

住吉委員

第3次実施計画は、ホームレスの方々の自立支援に向けてきめ細かな支援策となっています。ホームレスの問題は社会のさまざまな問題点が重なっており、個々の事情に即した対応が必要です。

・相談支援員(命をあずかる尊い大変な仕事で感謝しております)は、ホームレスと信頼関係を築き、寄り添ってくださっていることと思います。

・自立支援に向けて、福祉、健康、住所、就労、安全対策など多岐にわたる問題があることから、常に相互に連絡を取りあい、縦割りでなく横のつながりのネットワーク、民間、協働、ボランティアのチームアプローチによりホームレス一人ひとりの実績を踏まえた、自立支援を進めていく必要があると思います。

保護課長

ご意見ありがとうございます。

第3次実施計画におけるホームレス支援では、ご意見のとおり、当課で雇用している巡回相談員による巡回相談において、ホームレスとの信頼関係を築きながら支援を行うとともに、自立に向けた支援を図るために様々な関係機関と連携した包括的な支援を引き続き行ってまいります。

松崎委員

ホームレスの自立支援の重点支援、特に居住支援の連携が整って来ています。

保護課長

ご意見ありがとうございます。

ホームレス支援における重点項目の一つとして、日常生活を営むために居住支援をさらに充実させ、関係機関と連携して安定した居住場所を確保するための支援を行っていきます。

承認者数：15人中15人

<p>山下会長</p>	<p>全ての議題についてここで総括し、まとめいたします。</p> <p>前半、後半ともに積極的なご議論をいただきありがとうございました。</p> <p>地域包括ケアシステムの推進、地域共生社会の実現という政策が全国的に推進されようとするなかで、千葉市の特徴、地域性をふまえ、事務局においては、支え合いのまち千葉 推進計画、第2期千葉市貧困対策アクションプランやホームレスの自立の支援等に関する第3次実施計画の進行管理に努めていただきたいと思います。また、委員のみなさまも引き続きご協力をお願いいたします。</p> <p>特に、断らない相談というキーワードについて、今後の地域における相談体制の整備の中でどのようにそれが実行できるのかといった検証も、推進計画、アクションプラン、実施計画のそれぞれから検証をする必要があります。</p> <p>また、支え合いのまち千葉 推進計画についてですが、今後の各区の計画策定については、新型コロナウイルスとの関係で、従来通りの会議の設定等、進行に課題が生じることが懸念されます。引き続き、新型コロナウイルス予防の観点から、より効果的な進め方を検討してください。その際、いわゆる、対面の会議か、書面の会議か、遠隔の会議かといった方法を検討することだけではなく、参画する委員や住民の意見をより取り入れることができるべく、従来の事務局体制の在り方を再検討すること、そして、千葉市社会福祉協議会の地域福祉活動計画と支え合いちば 推進計画との一体化の検討等関係の整理についても今後検討願います。</p> <p style="text-align: center;">～ 終了 ～</p>
-------------	--

(2) 議事録 送付・意見聴取（令和3年3月18日）

- (3) 議事録
- 議題1 承認者数：20人中19人
 - 議題2 承認者数：15人中15人
 - 議題3 承認者数：15人中15人